

CD-ROM添付

収録内容

- 【1】第32集の掲載内容
- 【2】県及び教育委員会の資料
 - 人権教育資料（平成10年，13年）
 - 指導資料集掲載事項（第26集～30集）
 - ・第26集→参加型学習，具体的人権課題
 - ・第27集→個別課題への対応
 - ・第28集→学校人権教育推進校実践紹介
 - ・第29集→学校人権教育推進校実践紹介
 - ・第30集→学校人権教育推進校実践紹介
 - Human Rights
 - ～心のバリアフリーの実現を目指して～
- 【3】教職員研修のための資料
- 【4】子どもたちの活用資料

編集後記



表紙絵は、陸前高田市立広田中学校の子どもたちの姿（左写真）から生田裕人氏により描かれたものです。平成23年3月11日午後2時46分，翌日の卒業式の準備を終えた学校を地震が襲いました。

難を逃れようと裏山に駆け登った子ども達の目に映ったものは，津波に飲み込まれていく街，家…

美しい故郷が，大切な家族が傷つき臥していく中で，子ども達はこうしていまを生きていきます。

研修講師として昨春お迎えした大阪教育大学理事の成山治彦先生は，この子ども達の姿に触れ，「まだ10

代はじめの少年少女が遭遇した余りにも悲惨な現実を彼ら彼女らはどう受容して，走るところまで辿り着けたのでしょうか。生命や意思の強さに頭が下がる思いですが，**困難に立ち向かって乗り越えていく力はどこから生まれて育まれるのか，学校ができること，学校がすべきことはそこを明らかにして日常の教育活動で培うことにあるのではないかと思います。**」とおっしゃっています。

学校ができること，学校がすべきことを，子ども達の現実（いま）に向き合って考えていきたいと思えます。

本集の副題「今、光っていたい」は，昭和60年御巢鷹山での日航機墜落事故で亡くなった兵庫県の体育科教師田中愛子さんが遺した言葉からいただきました。

愛子さんは，被差別部落に生まれ，やはり教師である男性との結婚を両家族からの祝福のうちに迎えるところでした。

…人は軽く10年先、20年先を口にすれば

そのときを大切にしなければ 今、光っていたい…

将来のための力は確かに大切です。

しかしそれとともに，いま生きていく力がいかに大切なことかを教えてくれた出会いに感謝し，この32集を編集しました。

なお文書の作成には，本県元小学校教諭永嶋まつ子先生からも多大な御協力をいただきました。昨夏お目にかかった際，「少し急ぎませうかね」とおっしゃっておられた先生の旅立ちに間に合わせる事ができなかったことをお詫び申し上げますとともに，最期まで「学びの人」であられた先生の御冥福を心よりお祈りいたします。

【編集委員】（千葉県学校人権教育研究協議会推進校協議会委員 順不同）

伊藤 鉄哉	橘 浩	飯島 博	田中 教子	渡邊 誠	加藤 一善 萩原まい子 横山美代子
佐藤 尚久	菅谷 記代	伊澤 善久	櫻井 豊	石井 勝広	
見城 博	鈴木 修三	磯邊 健	武藤 功	長森 淳子	
〔事務局〕	千葉県教育庁教育振興部指導課人権教育室				

自他ともに尊重し
命を大切にする心の教育の推進

障害、性別、国籍等によるあらゆる不合理な差別を許さない教育を推進し、子どもたちが人間力の基盤となる豊かな人権感覚や感性（自分の大切さとともに他人の大切さを認めること）を身に付け、人権問題を解決しようとする実践的な行動力を養います。

～みんなで取り組む「教育立県ちば」プラン～から



学校人権教育指導資料集(第32集)

編集発行 千葉県教育庁教育振興部
指導課

平成24年3月

〒260-8662 千葉市中央区市場町1-1

☎ 043-223-4066 (指導課人権教育室)

印刷 株式会社白樺写真工芸